

渋谷区立代々木山谷小学校 「2025 年度 未来の学校ビジョン」

子ども主体の「未来の学校」づくりの推進

- 学びの個別化・協働化による子ども主体の学びの推進
 - ・学習形態（自力、ペア、グループ、全体）→ 共有
 - ・タブレット端末の活用
- 子ども主体の対話による学校運営の推進
 - ・特別活動の充実
 - ・実行委員の活用による活躍の場
- 教員の意識改革
 - ・新しい価値観の創出

学びの変革(未来の学校の実現)

- 探究的な学び(探究「シブヤ未来科」)、I C T活用
 - ・学習用具としてのタブレット端末のフル活用
 - ・発見する、発想を拡げる、共有する、繋げる、教科横断
 - ・代々木から渋谷へ、渋谷から各地へ発信
- デジタル・コンテンツの活用、デジタル・シティズンシップ
 - ・テキスト、画像、動画を取り入れた学習教材の活用
 - ・規範意識の醸成
 - ・メディアバランスの浸透

交通事故^{ゼロ}0

春の小川の小学校

地域とともに歩み発展する
子どもも 大人も 自己実現が図れる

人権尊重教育の推進

安心・安全に挑戦できる環境

- いじめ問題・不登校への対応
 - ・学校組織末端まで行き届いた情報網、情報の共有化
 - ・根底からの人権尊重教育の展開
- 特別支援教育
 - ・児童一人一人の特性を捉え、個に応じた指導
- 教育ダッシュボード
 - ・情報の分析、共有化

校務D X への取組(働き方改革)

- Teams のフル活用
 - ・提案、連絡機能としての標準化
 - ・記録の集積
- 資料のデータ化・ペーパーレス化、効率化
 - ・ファイル分類化
 - ・作成教材の共有財産化

地域と子どもの 未来を共創する学校の推進

- コミュニティスクールの推進
 - ・教員参加による相互理解の推進、活性化
- 「探究」の取組について、保護者、地域等の外部資源の活用
 - ・「コウホネ」、「530 作戦」を核にした地域人材との繋がり、活用